

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表用)

回答数はスタッフのアンケート集約数を再掲

目標・工夫の欄はスタッフの回答をもとに事業所としてまとめたものです

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	1	限られた空間ですが、日中の情緒の安定にを基本において、個室や庭砂場を必要に応じて活用しています。利用者が多い等の場合2階を使用している 人数が多い時や身体を動かしたい子がいる時のために感覚統合部屋があればと思う
	②	職員の配置数は適切である	9			子ども1.5人にスタッフ1人の配置で支援しています 丁寧にこどもとかかわることができる配置だと思う 障がいの特性に応じた対応が必要なため職員同士で協力している 他の施設から見れば1.5:1は多いと思われるが、その分丁寧に関わっている
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	2	構造上バリアフリーには制約があり、また、食事と自由活動空間の分けにも難しさがあるが、基本的な生活や活動の枠組みの移行がこどもに分かりやすいように心がけている 別室やお昼寝の部屋が2回にあるため階段が危なかったり見えない部分があるので注意している
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	5		感染症予防の衛生対策にマニュアルを作って努めています こども達の手の届かない所に窓歯があればいい 室内がもう少し広げればよい できればトイレの個別化(こども用) 手洗い場にお湯が出る等があれば良い
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	8			評価表は未作成なので今後検討要 保護者とのモニタリングと日常の情報交換での意見は、毎朝の検討申し合わせ、スタッフ用連絡帳で全職員に周知するようにしている
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		掲載の通りです
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		児童発達に関する第三者評価は、現在適切な評価先をみつけきれしていません。実施を前提に検討をします
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	1	有料の年間研修WEBサイト・WEB研修を実施してきました。 年度末に有識者の講演会を事業所で実施し継続する計画です 少人数ずつでも出来れば良い

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			モニタリングの内容まとめは複数でかかわっています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			こどもの課題に応じて、数種類の標準化されたアセスメントツールを活用しています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			個別支援計画とモニタリングによる支援計画、日常的な支援手法の変更や調整はその都度スタッフ間で申し合わせている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2		児発管と職種間（保育士・児童指導員・S T・心理士）でのチーム検討でモニタリングをしている
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放個別支援計画を作成している	8			児発管の調整をもとに、週単位の設定療育の企画で対応
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			毎朝送迎前に、前日のこどもの様子、当日の日中活動の打ち合わせをしています 前日のこどもの様子など連絡ノートに記録
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2		送迎後、記録業務中でこどもの情報交換
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			利用日の支援記録をもとにモニタリング案を作る
関係機	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			原則6カ月に1回、必要に応じて1カ月～3カ月の間隔のケースもあります 保護者の方と課題等共有できるように向上していく必要がある
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		保育所、幼稚園、特別支援学校との協議にも参加
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行っている	4	2		

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を受け入れる場合) 子どもの主治医等や協力医療機関と連絡体制を整えている	4	2		
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		ステップアップの時期に情報交換があります。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	6	
	②⑨	(地域自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	1	5	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		利用日の連絡帳、送迎時の情報交換、モニタリング、必要に応じた電話連絡で補っています
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペア家族支援プログラム(アレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			個別に保管
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		5	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			保護者の方と話をしできるだけ対応するが、難しい場合は協力していただいています

非常時等の対応	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			月1回 さんさんキッズだよりの発行
	③⑧	個人情報に十分注意している	8	1		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			職員同士で話し合い丁寧を心がけている
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1		策定しています 2021年度は2回防災訓練を実施しました マニュアルがあれば全職員で共通理解をし訓練にも活かしたい
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		防犯訓練も必要 全職員が必ず1回は訓練に参加する 抜き打ち訓練も必要。訓練後反省し改善すべき点はすぐに改善する
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		8		お迎え時に、健康状態の確認をしています
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		研修に職員を派遣
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	1	アレルギーがあれば個別支援計画で対応しています
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3	1	実施中
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		本年度の作成課題です	

○この「事業所における自己評価結果は(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか				
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか				
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか				

保護者への説明等	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか				
	⑭	個人情報に十分注意しているか				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか				